（下呂市立たけはらこども園）

評価細目の第三者評価結果

評価対象Ⅰ　福祉サービスの基本方針と組織

Ⅰ－１　理念・基本方針

		第三者評価結果
Ⅰ－1－（１）　理念、基本方針が確立・周知されている。		
1	Ⅰ－1－（１）－①　理念、基本方針が明文化され周知が図られている。	ⓐ・b・c

良い点／工夫されている点：

保育の理念「 ～子ども達が今を幸せに生活し、心豊かでたくましく未来（あす）を生きる力を育むとともに、地域における子育てを支援する。～ 」「～この地域特有の良さを活かし、大自然の中で遊ぶ体験をしたり、地域の人と様々な活動を通してふれ合いながらこの地域に愛着をもたせる。子どもの最善の利益を考慮しながら将来を担う子を育成していく。～」が明文化されている。また、それを踏まえて６つの保育方針「１．一人ひとりの子どもを大切にする保育をめざす。」「２．遊びや集団生活を通して、主体性・基本的生活習慣・道徳性を育む保育をめざす。」「３．養護と教育が一体となって、豊かな人間性やたくましく生きる力の基礎を育てる保育をめざす。」「４．家庭、地域、学校との連携を深めながら、広い視野で子どもたちを見守り、育てる保育をめざす。」「５．地域の子育て支援の拠点と慣れる保育をめざす。」「６．食にかかわる体験を通して、食を楽しめる保育をめざす。」が明文化されている。それをもとに、園の保育目標、子どもの保育目標が明文されている。理念・保育方針等は、「市の保育方針」文書、全体的な計画等に明記され、各職員に配布されている。年度当初の職員会議で説明する等、日頃から職員への周知に努めている。また、利用者・家族等に向けた周知については、ホームページ、入園のしおり等への掲載や玄関掲示を行い、年度当初の入園式や保護者会等で説明を行っている。さらに、利用者・家族をはじめ広く地域に向けた周知に取り組んでいる。

改善できる点／改善方法：

Ⅰ－２　経営状況の把握

		第三者評価結果
Ⅰ－2－（１）　経営環境の変化等に適切に対応している。		
2	Ⅰ－2－（１）－①　事業経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。	ⓐ・b・c

良い点／工夫されている点：

保育制度の動向については、市第二次総合計画において具体的に把握分析している。また園長がこの地域の区長、副区長、議員、民生児童委員、警察、医者で構成される「地域作り会議」に、小、中学校校長と共に出席し、この地域の子どもの人口動態や地域のニーズを把握するようにしている。その他、地域担当の保健師、家庭、社会教育主事で構成される「子育て係り会」で情報を交換し合いながら地域の保育ニーズの分析・検討に取り組んでいる。また、園庭開放を通して地域の子育てニーズの把握に努めている。

改善できる点／改善方法：

3	Ⅰ－２－（１）－② 経営課題を明確にし、具体的な取り組みを進めている。	(a)・b・c

良い点／工夫されている点：
具体的な経営課題（園の運営、保育の質の向上、職員研修、施設整備、地域の課題等）を明確化し、課題改善に向けた取り組みを行っている。

改善できる点／改善方法：

Ⅰ－３ 事業計画の策定

	第三者評価結果
Ⅰ－３－(１) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。	

4	Ⅰ－３－(１)－① 中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。	(a)・b・c

良い点／工夫されている点：
市の第二次総合計画を踏まえ、市の子ども・子育て支援事業計画（5か年計画）を策定し、子ども・子育て会議や圏域別保護者代表者会議等で事業の進捗や課題について協議を行っている。

改善できる点／改善方法：

5	Ⅰ－３－(１)－② 中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。	(a)・b・c

良い点／工夫されている点：
市の中・長期計画を踏まえ、園としての単年度の事業計画を策定している。事業計画は、園の現状と課題を明確化し、園運営全般に渡る計画が策定されている。予算の根拠づけがあり、実行性のある計画が策定されている。また、目標管理ミーティングシートを基に年度の実績評価、目標管理シートを作成して事業目標を設定している。

改善できる点／改善方法：
人口動態、地域ニーズ等経営環境の変化を見据えた今後のセグメンテーションのあり方や事業ドメインの方向性を指し示す運営方針の明確化、事業計画の充実に向けた取り組みに期待したい。

Ⅰ－３－(２) 事業計画が適切に策定されている。

6	Ⅰ－３－(２)－① 事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。	(a)・b・c

良い点／工夫されている点：
事業計画は、前年度の反省を基に主任と現場リーダーを中心に検討し、職員会議等を通じて策定や評価・見直しを行っており、組織的な取り組み体制ができている。実績評価、目標管理シートを達成度のスケールとして活用している。また年度当初に事業計画を全職員に配布するとともに、各種会議での説明を通じて職員周知を図っている。今年度は園の事業計画の見直しを綿密に行い、両地区で説明会を重ねながら保護者、地域の意見をもとに、上原地区の地域と繋がりのある行事を今後も継承していけるよう事業計画に盛り込んでいる。

改善できる点／改善方法：

7	Ⅰ－３－(２)－② 事業計画は、保護者等に周知され、理解を促している。	a・(b)・c

良い点／工夫されている点： 　事業計画の利用者への周知については、入園のしおりへの記載、年度初めの保護者総会での計画の配布と説明に加え、市のホームページを活用した周知に取り組んでいる。また、毎月の園だより、月カレンダーを家庭に配布したり、「たけはらつうしん」に計画の内容を掲載し、地域への広報に努めている。
改善できる点／改善方法： 　利用者への周知について、利用者・保護者、地域住民はステークホルダーの重要な一員であるので、事業計画全体の要旨について、分かりやすい資料作成やホームページのさらなる活用等、周知に向けた取り組みに期待したい。

Ⅰ－４　福祉サービスの質の向上への組織的・計画的な取組

		第三者評価結果
Ⅰ－４－（１）　質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。		
8	Ⅰ－４－（１）－①　保育の質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。	ⓐ・b・c
良い点／工夫されている点： 　事業所の自己チェック表や目標管理シートを活用し、毎年、定期的に職員間で自己評価チェックを実施し、検討している。また、今年度は岐阜県福祉サービス第三者評価を受審している。		
改善できる点／改善方法：		
9	Ⅰ－４－（１）－②　評価結果にもとづき保育所として取組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。	ⓐ・b・c
良い点／工夫されている点： 　自己チェック表や目標管理シートを活用した自己評価、岐阜県福祉サービス第三者評価の受審結果から把握した課題に対して、改善策・改善実施計画を立案し、解決を図る組織体制を整備している。		
改善できる点／改善方法：		

評価対象Ⅱ　組織の運営管理

Ⅱ－１　管理者の責任とリーダーシップ

		第三者評価結果
Ⅱ－１－（１）　管理者の責任が明確にされている。		
10	Ⅱ－１－（１）－①　施設長は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。	ⓐ・b・c
良い点／工夫されている点： 　事務分掌表において管理者の役割と責任について明文化し、職員会議等の機会を捉えて、表明し、職員への周知を図っている。災害時の役割分担についても明文化し、職員会議説明している。また、年度初めの職員会議にて、子どもたちの最善の利益をめざす質の高い保育の実現を目指し、園の方針、保育の方針を伝えている。		
改善できる点／改善方法：		

11	Ⅱ－１－（１）－②　遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	a・(b)・c

良い点／工夫されている点：
園長は、園運営を取り巻く関係法令に関する研修会に参加し、支援会議で取り上げたり、園内研修等を通して、職員にわかりやすく説明し、職員のコンプライアンス意識を高める取り組みを行っている。

改善できる点／改善方法：
福祉施設のコンプライアンス体制が重要なキーワードになりつつある現在、全ての職員に至るまで、法令基礎からの積み上げ教育やアクティブ・ラーニングを活用したインターラクティブな教育、テスト形式による習熟度確認を実施する等、知的ディプシリンを徹底させることにより、今後とも、さらなる組織ガバナンスの強化に向けた取り組みに期待したい。

Ⅱ－１－（２）　管理者のリーダーシップが発揮されている。

12	Ⅱ－１－（２）－①　保育の質の向上に意欲をもち、その取組に指導力を発揮している。	(a)・b・c

良い点／工夫されている点：
園長は、「子どもの最善の利益を考慮し、人権に配慮した保育を行う」そのためには、保育士は常に学び続けなければならない。それが保育士の義務でもあり、権利でもある。」という基本姿勢のもと、自己評価チェック表・目標管理シートの活用や日常的な保育状況の把握を通して、保育の質の向上に向けて課題分析し、改善に取り組んでいる。また、資質向上に向けて研修で知識や技術を身につけるとともに、職員同士のつながりを深め、職員チームで保育に取り組める信頼関係を築いていけるようにしている。

改善できる点／改善方法：

13	Ⅱ－１－（２）－②　経営の改善や業務の実効性を高める取組に指導力を発揮している。	(a)・b・c

良い点／工夫されている点：
園長は、人材の適正配置、効率的な業務体制の推進や書類の簡素化等、経費節減の業務改善を推進するとともに職員に周知を図り、適正な職員配置に努める等、付与された予算の適正な執行に向けた取り組みを行うとともに、各種会議を通して職員の運営リテラシー向上に向けた取り組みを行っている。

改善できる点／改善方法：

Ⅱ－２　福祉人材の確保・育成

		第三者評価結果

Ⅱ－２－（１）　福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。

14	Ⅱ－２－（１）－①　必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	(a)・b・c

良い点／工夫されている点：
「げろっこいきいきプラン」推進計画に基づき、国の基準を上回る配置基準によって保育の質を高めている。また、各種研修への参加を促進するとともに、資格取得を奨励する等し、職員一人ひとりの資質向上に向けた取り組みを行っている。

改善できる点／改善方法：

15	Ⅱ－２－（１）－②　総合的な人事管理が行われている。	(a)・b・c

良い点／工夫されている点：
「市職員人材育成基本方針」に期待する職員像や人材育成について明確化されており、職員への周知を図っている。人事考課については、市の基準に基づき職員評価を実施し、フィードバック面接を通して、職員の業務上の課題や目標等を話し合うことにより、課題を明確にし、改善策を検討している。

改善できる点／改善方法：

Ⅱ－２－（２） 職員の就業状況に配慮がなされている。

16	Ⅱ－２－（２）－① 職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取組んでいる。	ⓐ・b・c

良い点／工夫されている点：
職員の有給消化率や時間外労働については定期的にチェックし、把握している。また職員の意向や意見を聞き取る等、相談しやすい雰囲気づくりや専門相談員の本庁での配置等、相談体制の充実に努めるとともに、ワーク・ライフ・バランスに配慮した働きやすい就業環境作りに努めている。

改善できる点／改善方法：

Ⅱ－２－（３） 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。

17	Ⅱ－２－（３）－① 職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。	ⓐ・b・c

良い点／工夫されている点：
期待する職員像を明確に示しており、目標管理シートを活用し、期首の目標設定、期中、期末のフィードバック面談を経て、目標達成状況の評価を行う取り組みを行っている。それぞれの職員が自分の仕事を見直し、一人ひとりの能力アップに繋がるように実施している。評価を実施する側も評価研修を受講し、より高い能力を持った職員の育成に努めている。

改善できる点／改善方法：

18	Ⅱ－２－（３）－② 職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。	ⓐ・b・c

良い点／工夫されている点：
市の保育方針の中で職員研修の基本姿勢が明記されている。『「子どもの最善の利益を考慮し、人権に配慮した保育を行う」そのためには、保育士は常に学び続けなければならない。それが保育士の義務でもあり、権利でもある。』という基本姿勢のもと、年間研修計画に基づき、外部研修への参加等の研修体制が確立している。基本方針である「遊びを通しての体作り」と今年度の園のテーマである「統合保育」の研修に、正規職員はもちろん臨時職員にも参加を促し、共通理解して園児に対応し、働きかけできるようにしている。

改善できる点／改善方法：

19	Ⅱ－２－（３）－③ 職員一人ひとりの教育・研修の機会が確保されている。	ⓐ・b・c

良い点／工夫されている点：
外部研修については、職員の意向を踏まえ、一人ひとりの職位やスキルを把握し、それに応じた研修を受講させている。受講後は復命書を回覧し、会議の席で報告し、職員への周知を図っている。

改善できる点／改善方法：

Ⅱ－２－（４） 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。

20	Ⅱ－２－（４）－① 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の教育・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。	ⓐ・b・c

良い点／工夫されている点：

実習生マニュアルを整備し、公的施設としての使命の意識を持ち、実習生を受け入れている。事前のオリエンテーションを実施し、実習プログラムに沿った指導を行い、実習後のカンファレンスを開催する等、積極的に取り組んでいる。また、中学校の職場体験の受け入れ等を行っている。

改善できる点／改善方法：

Ⅱ－３ 運営の透明性の確保

		第三者評価結果
Ⅱ－３－（１） 運営の透明性を確保するための取組が行われている。		
21	Ⅱ－３－（１）－① 運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。	ⓐ・b・c

良い点／工夫されている点：

ホームページ上に、施設概要、サービスの内容、活動の様子について積極的に公開する等、運営の透明性の確保に努めている。また、広報や園便りなど地区公民館にも掲示して周知を図っている。また地域の会議「竹原っこ会議」の場で地域に向けたプレゼンテーションを行う等して、園の方針や活動を広報している。

改善できる点／改善方法：

22	Ⅱ－３－（１）－② 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。	ⓐ・b・c

良い点／工夫されている点：

本庁で各種規程を整備し、事務、経理、取引等についてルール化している。本庁から付与された園の予算については適正な執行に努めている。

改善できる点／改善方法：

Ⅱ－４ 地域との交流、地域貢献

		第三者評価結果
Ⅱ－４－（１） 地域との関係が適切に確保されている。		
23	Ⅱ－４－（１）－① 子どもと地域との交流を広げるための取組を行っている。	ⓐ・b・c

良い点／工夫されている点：

「この地域特有の良さを生かし、大自然の中で遊ぶ体験を通し地域の人々と様々な活動を通してふれ合いながらこの地域に愛着を持たせ、将来を担う子を育成していく。」という地域に根ざす方針をもとに地域交流を深めている。この地域は、子育てしやすい地域づくりに邁進しており、地域作り会議等に園長も参加し、情報発信している。そのため園への関心も深く、地域の人々もブルーベリー狩り、畑作り、あまごつかみ等で、積極的な協力を得ている。

改善できる点／改善方法：

24	Ⅱ－４－（１）－② ボランティア等の受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	ⓐ・b・c

良い点／工夫されている点： 　下呂市保育園サポーター事業実施要綱により、ボランアティアを積極的に受け入れている。ボランティア受け入れの際には安全に活動してもらうため、活動前に守秘義務、活動内容等の事前説明を行っている。		
改善できる点／改善方法：		
Ⅱ－４－（２）　関係機関との連携が確保されている。		
25	Ⅱ－４－（２)－①　保育所として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。	ⓐ・b・c
良い点／工夫されている点： 　地域の関連機関（市担当課、保健センター、児童発達支援事業所、園医、警察、消防署、学校、地域団体等）との密な連携関係ができている。職員間で社会資源の共有化もできており、とりわけ、虐待等の対応は保育園の役割をしっかり把握し、職員にも周知して対応している。		
改善できる点／改善方法：		
Ⅱ－４－（３）　地域の福祉向上のための取組を行っている。		
26	Ⅱ－４－（３)－①　保育所が有する機能を地域に還元している。	ⓐ・b・c
良い点／工夫されている点： 　事業所機能の地域への還元については、園庭開放、本の貸し出し、園行事の体験活動や、人形劇鑑賞等を実施し、支援をしている。また、災害時の避難所となっており、地域の避難者を受け入れる体制を整える等して、園が有する機能を地域に還元している。		
改善できる点／改善方法：		
27	Ⅱ－４－（３)－②　地域の福祉ニーズにもとづく公益的な事業・活動が行われている。	ⓐ・b・c
良い点／工夫されている点： 　社会福祉法人改革の流れの中で、今後、社会福祉法に規定された社会福祉事業にとどまらない地域貢献活動がますます重要になってくるが、公立施設にはなじみにくい項目でもある。地域に開かれた施設として、地域の子育てニーズに応じて、園開放、園庭開放、相談事業、地域交流等に取り組んでいる。また、園長が地域のネットワーク会議に出向き，「こども園から小・中学校までの１２年間、こどもを核にした連携を心がけること」と「オール竹原で、地域を元気にする主体的な取り組み」を主とした取り組みができるよう、地域のとりわけ、小中学校や地域の民生児童委員等と日頃から連絡を取り合っている。		
改善できる点／改善方法：		

評価対象Ⅲ　適切な福祉サービスの実施

Ⅲ－１　利用者本位の福祉サービス

		第三者評価結果
Ⅲ－１－（１）　利用者を尊重する姿勢が明示されている。		
28	Ⅲ－１－（１)－①　子どもを尊重した保育について共通の理解をもつための取組を行っている。	ⓐ・b・c

良い点／工夫されている点： 「この地域特有の良さを活かし、大自然の中で遊ぶ体験を通し、また、地域の人と様々な活動を通してふれ合いながらこの地域に愛着をもたせ、子どもの最善の利益を考慮しながら将来を担う子を育成していく。」の理念のもと、毎朝「保育士倫理綱領」や、今年度の個々を尊重する保育のテーマである「みんなちがってみんないい」を唱和している。唱和することで、子ども一人ひとりを尊重し接するよう意識づけを図っている。また、支援会議では、個別のケース会議を行なって職員が共通の話題で意見が言い合えるようにしている。		
改善できる点／改善方法：		
29	Ⅲ-１-（１)-② 子どものプライバシー保護等の権利擁護に配慮した保育提供が行われている。	ⓐ・b・c
良い点／工夫されている点： 子どものプライバシー保護について、全国保育士会倫理綱領を唱和し、職員への意識づけを図るとともに、日常的な生活場面において適切な支援に努めている。		
改善できる点／改善方法：		
Ⅲ-１-（２） 福祉サービスの提供に関する説明と同意（自己決定）が適切に行われている。		
30	Ⅲ-１-（２)-① 利用希望者に対して保育所選択に必要な情報を積極的に提供している。	ⓐ・b・c
良い点／工夫されている点： ホームページは園の内容や取り組みを掲載したり、園の様子や行事等について公民館に掲示したりする等、保育所選択に資するようわかりやすく工夫している。園見学や園庭開放も積極的に受け入れている。		
改善できる点／改善方法：		
31	Ⅲ-１-（２)-② 保育の開始・変更にあたり保護者等にわかりやすく説明している。	ⓐ・b・c
良い点／工夫されている点： ホームページで園の概要や保育内容等を発信しており、入園説明会時に入園のしおりを使用してわかりやすく説明するとともに、在園児の保護者に向けて毎年進級式にて文章を配布し説明している。また、保育時間の変更や延長保育の利用がある場合は、個別に説明している。		
改善できる点／改善方法：		
32	Ⅲ-１-（２)-③ 保育所等の変更にあたり保育の継続性に配慮した対応を行っている。	ⓐ・b・c
良い点／工夫されている点： 市内の転園については、個別記録票を転園先に送付する等して、引き継ぎ等を行っている。市外の場合でも、引き継ぎ書等について対応可能な体制を整えている。卒園での保育終了時は、保育要録を作成し、小学校へ引き継いでいる。支援が必要な児については、卒園後もさくらんぼ教室が窓口になり相談を受ける体制を整えており、保育所利用後の相談対応等、保育の継続性に配慮した対応に心がけている。		
改善できる点／改善方法：		
Ⅲ-１-（３） 利用者満足の向上に努めている。		

33	Ⅲ－１－（３）－①　利用者満足の向上を目的とする仕組みを整備し、取組を行っている。	ⓐ・b・c
良い点／工夫されている点： 　こども園利用アンケートを毎年実施しており、その結果と保護者の意見をまとめ、園内会議で改善策を検討している。保護者にはアンケート結果や意見、改善策を報告している。また、保護者面談、担任による個別面談も実施する等、利用者満足の向上に向けた取り組みを行っている。 　保護者へのアンケートを毎年実施するとともに、園長が保護者会に出席し、意見や要望を把握している。定期的な個別懇談等を通して保護者と園の間でインタラクティブな関係を構築し、相互に子どもの育ちを考えていけるような体制づくりに取り組んでいる。		
改善できる点／改善方法：		

Ⅲ－１－（４）　利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。

34	Ⅲ－１－（４）－①　苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。	ⓐ・b・c
良い点／工夫されている点： 　マニュアルを作成し、苦情解決担当者、責任者、第三者委員を設置し、苦情解決の仕組みを整備しており、入園式や保育参観後の説明会で、保護者に文書を配布するとともに、相談体制について説明し、園内掲示も行っている。		
改善できる点／改善方法：		

35	Ⅲ－１－（４）－②　保護者が相談や意見を述べやすい環境を整備し、保護者等に周知している。	ⓐ・b・c
良い点／工夫されている点： 　送迎の際には保護者とのコミュニケーションに努めたり、意見箱を設置する等、気軽に意見を述べやすいよう工夫をしている。また、園内に相談室を設置し相談しやすい場所を確保している。入園式や保育参観後の説明会で、保護者には相談できる体制について文面配布して説明する等して、気軽に相談できる環境づくりに取り組んでいる。		
改善できる点／改善方法：		

36	Ⅲ－１－（４）－③　保護者からの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。	ⓐ・b・c
良い点／工夫されている点： 　玄関に意見箱を設置し、園便りでの広報や、入園式や保護者会総会での説明に努めている。職員は、積極的に保護者と関わることで、気軽に話せるような雰囲気づくりに努めている。寄せられた意見に対しては、迅速対応に資するべく、対応マニュアルを整備し、そのプロセスを明確化している。保護者アンケートのニーズに関して、職員会議で検討し、園運営の方針や意見を踏まえた改善策を保護者に説明し、理解を得ていく取り組みを行っている。		
改善できる点／改善方法：		

Ⅲ－１－（５）　安心・安全な福祉サービスの提供のための組織的な取組が行われている。

37	Ⅲ－１－（５）－①　安心・安全な福祉サービスの提供を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。	ⓐ・b・c

良い点／工夫されている点： 各種の対応マニュアルを作成し、事案別に事故の発生時の対策手順を定めている。また、ヒヤリハット事例を記録し、終礼や職員会議等で検討し、事故の発生予防に努めている。事故防止チェックを年３回行っており、毎年５Ｓ活動も行い等、安全な環境作りに取り組んでいる。事故防止への取り組みを全職員に周知し、訓練を積み重ねながら、有事の際にも適正な対応ができるようにしている。
改善できる点／改善方法：

38	Ⅲ-１-（５）-②　感染症の予防や発生時における子どもの安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。	ⓐ・b・c
良い点／工夫されている点： 感染症対応マニュアル等を整備し、勉強会や感染症研修を実施する等して予防に努めている。また、嘔吐処理キットを常備し、補充や取り換えを行っている。感染症が発生した場合は保護者へ文章やメールで情報提供するとともに、園での対応と予防策を報告している。		
改善できる点／改善方法：		

39	Ⅲ-１-（５）-③　災害時における子どもの安全確保のための取組を組織的に行っている。	ⓐ・b・c
良い点／工夫されている点： 各災害時に対応した各種マニュアルを整備し、有事の際の子どもの安全確保のため、定期的に防災訓練・避難訓練を実施し、災害への意識を高めて各種の災害に備えている。また、保護者等への安全な引渡しのため「緊急時引き渡し安全確認カード」を作成し、緊急時に備えている。災害時の職員体制、避難場所、ルートについても図で示し掲示している。耐震措置ができていること、備蓄品の搬送も整備できていることから災害時の避難所にも指定されており、職員は自治体と連携して、防災訓練時には避難所開設の訓練も受け、避難の受け入れに関わる体制を整備している。		
改善できる点／改善方法：		

Ⅲ-２　福祉サービスの質の確保

		第三者評価結果
Ⅲ-２-（１）　提供する福祉サービスの標準的な実施方法が確立している。		
40	Ⅲ-２-（１）-①　保育について標準的な実施方法が文書化され保育が提供されている。	ⓐ・b・c
良い点／工夫されている点： 市の保育方針の中で、「職員の研修」が明記されており、各種マニュアル類を整備し、会議での説明や職員研修を通じて、職員への周知に努めている。		
改善できる点／改善方法：		
41	Ⅲ-２-（１）-②　標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	ⓐ・b・c
良い点／工夫されている点： 各種マニュアルの定期的な見直しを通じて、サービスの標準化に取り組んでいる。保育の実践については、随時見直しを行い、市の年代部会や公開保育の反省をもとに検討を重ね、保育に反映させている。		

改善できる点／改善方法：

Ⅲ－２－（２）　適切なアセスメントにより福祉サービス実施計画が策定されている。

42	Ⅲ－２－（２）-①　アセスメントにもとづく指導計画を適切に策定している。	ⓐ・b・c

良い点／工夫されている点：
統一した手順と様式を用いてアセスメントを行い、保護者の意向を踏まえてニーズを把握している。アセスメントは関係機関と連携をとり、情報共有をする中で家庭状況、生育歴、心身状況等を把握している。また、入園前の面談、子育て相談、保護者が提出する保育児童調査票をもとに個別計画、個別指導計画を作成している。一貫した支援を行なうため、常に支援会議を開き、職員間でケース検討を行っている。

改善できる点／改善方法：

43	Ⅲ－２－（２）-②　定期的に指導計画の評価・見直しを行っている。	ⓐ・b・c

良い点／工夫されている点：
計画の見直しについては、実践記録、自己評価に基づき課題を明確にし、職員ともその課題を共有しながら見直しを行っている。

改善できる点／改善方法：

Ⅲ－２－（３）　福祉サービス実施の記録が適切に行われている。

44	Ⅲ－２－（３）-①　子どもに関する保育の実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化さている。	ⓐ・b・c

良い点／工夫されている点：
記録に関する規程を整備し、職員間で各種記録の情報共有に努めている。保育の実施状況や子どもに関する記録は保育児童個別記録票や保育要録に記録するとともに、記録の標準化に努めている。記録の書き方については、ひな形を作成しデータで保存し、全職員で共有している。

改善できる点／改善方法：

45	Ⅲ－２－（３）-②　子どもに関する記録の管理体制が確立している。	ⓐ・b・c

良い点／工夫されている点：
管理について個人情報保護条例に基づき、厳重に管理するとともに、マニュアルを整備し、研修参加等を通して個人情報保護の意識を高めている。また、市文書管理規定に基づき保存、廃棄を行っている。電子データについては、持ち出し厳禁であり、情報が漏洩することがないようセキュリティチェックを行なっている。

改善できる点／改善方法：

（下呂市立たけはらこども園）

評価細目の第三者評価結果
（児童分野　保育所）

評価対象Ⅳ　保育内容

Ⅳ－１　保育課程の編成

	第三者評価結果
Ⅳ－１－（１）保育所の理念、保育の方針や目標に基づき、子どもの心身の発達や家庭及び地域の実態に応じて保育課程を編成している。	ⓐ・b・c
良い点／工夫されている点： 保育課程(保育の内容に関する全体的な計画)は、理念、保育の方針や目標を基に市の作成した「げろっこかがやきプラン」の内容も取り入れながら、地域とつながりのある活動(縄ない、がんどううちの継承や白雲座、鳳凰座出演等)を盛り込んだ内容となっている。また、年度末に保育課程(保育の内容に関する全体的な計画)の評価を行い、来年度の編成に生かしている。	
改善できる点／改善方法：	

Ⅳ－２　環境を通して行う保育、養護と教育の一体的展開

	第三者評価結果
Ⅳ－２－（１）生活にふさわしい場として、子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している。	ⓐ・b・c
良い点／工夫されている点： 室温を適度に設定し、換気をこまめにする他、遊具は点検チェック表によりチェックしている。年少児の部屋のコーナーには絨毯を敷き、落ち着いて過ごせるようにしている。午睡時はコーナーが睡眠の場所となり、安心して眠ることができている。	
改善できる点／改善方法：	
Ⅳ－２－（２）一人ひとりの子どもを受容し、子どもの状態に応じた保育を行っている。	ⓐ・b・c
良い点／工夫されている点： 子どもの個人差を把握し、その子に合わせた声かけや対応を行っている。個別の配慮が必要な子に対しては個別支援計画を作成し、全ての職員が同じ思いで接することができるよう情報の共有に努めている。毎月、ケース会議や支援会議で子ども一人ひとりの状況について話し合い、共通理解し、対応策を検討している。	
改善できる点／改善方法：	
Ⅳ－２－（３）子どもが基本的な生活習慣を身につけることができる環境の整備、援助を行っている。	ⓐ・b・c
良い点／工夫されている点： 個別指導を大切にし、できたことを褒め、認めることでより次への意欲へとつなげている。一方で、真似る、競う等の集団の力を利用して、習慣化できるよう働きかけている。子どもが自分でやろうとする気持ちを尊重し、イラストを描いて指導したり、声をかける等の援助している。	
改善できる点／改善方法：	
Ⅳ－２－（４）子どもが主体的に活動できる環境を整備し、子どもの生活と遊びを豊かにする保育を展開している。	ⓐ・b・c
良い点／工夫されている点： 子どもたちの発想を大切にし、新聞紙、折り紙等を使って自由に表現遊びができるようにしている。年間を通して、異年齢ペアを決めて、子ども同士で考え、学び合う環境を整備している。また、全園児で人への理解につながることを願い、毎日、短時間であるが手話の時間を作り、手話で歌を歌ったり、表現する楽しさを体験させている。	
改善できる点／改善方法：	

Ⅳ－２－（５）乳児保育（０歳児）において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	ⓐ・b・c

良い点／工夫されている点：
　床暖房であり、子どもが安心して活発に過ごせる場所、環境に配慮している。子どもの感性を育てるために本の読み聞かせや歌を歌う等している。また、保育士と愛着関係が持てるような柔らかい言葉かけをしたり、気長に待つ姿勢で接するよう心がけている。保護者とは連絡帳で保護者の気持ちを受け止める等して、子育ての連携を大切にしている。

改善できる点／改善方法：

Ⅳ－２－（６）３歳未満児（１・２歳児）の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	ⓐ・b・c

良い点／工夫されている点：
　未満児と以上児で、遊具や園庭を区分して、安全に活動できるようにしている。3歳児健診には毎回、保育士が交替しながら参加し、保健師との連携を図りながら子どもの発達について確認している。

改善できる点／改善方法：

Ⅳ－２－（７）３歳以上児の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	ⓐ・b・c

良い点／工夫されている点：
　英語やサッカー、リトミック等の専門家による指導を受ける等、就学に向けての教育、体力づくりに取り組んでいる。保護者とは、日々の登園降園時の声かけや連絡帳の記載、便りの発行等、機会を見つけてコミュニケーションを取る等、信頼関係の構築に努めている。

改善できる点／改善方法：

Ⅳ－２－（８）障害のある子どもが安心して生活できる環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	ⓐ・b・c

良い点／工夫されている点：
　支援が必要な子は児童発達支援事業所に通所し、遊びを通して心と身体の発達を支援している。また、リハビリ科のある総合病院の理学療法士、作業療法士、言語聴覚士等リハビリの専門職と連携体制ができており、保育の現場や家庭におけるアドバイスを受けている。担任が個別支援計画を作成し、加配保育士や支援員をつける等し、配慮している。毎月ケース会議を行い、職員全員が子どもの状況を共有するとともに、年度の初めに障がいがある子どもの保育に関して、外部研修に参加する等、学びを深めている。

改善できる点／改善方法：

Ⅳ－２－（９）長時間にわたる保育のための環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	ⓐ・b・c

良い点／工夫されている点：
　長時間保育の留意点をまとめ、職員に周知している。長時間保育となる子どもの様子については担任から引き継ぎが行なわれ、保護者にも丁寧に伝えられている。家庭的な雰囲気の中でくつろいで過ごせるよう、塗り絵や絵本を読んだりして、楽しく穏やかに過ごせるよう配慮している。

改善できる点／改善方法：

Ⅳ－２－（１０）　小学校との連携、就学を見通した計画に基づく、保育の内容や方法、保護者との関わりに配慮している。	ⓐ・b・c

良い点／工夫されている点：
　小学校の運動会の見学や学校探検の一日入学等で、就学に向けて関心を高めている。また、小学生が生活科や総合学習の授業で園を来訪する等、交流を行っている。年長児の担任はアプローチカリキュラム（バス通学での挨拶、乗り降り等）を作成し、就学までに身につけたい事項を指導している。

改善できる点／改善方法：

Ⅳ－３　健康管理

	第三者評価結果
Ⅳ－３－（１）子どもの健康管理を適切に行っている。	(a)・b・c
良い点／工夫されている点： 　健康管理に関するマニュアルがあり、感染症対策ガイドラインに基づいて対応している。園児の既往歴や予防接種等については、家庭状況調査で把握し、職員に周知している。年度当初の研修会においてＳＩＤＳに関する知識を学び、保護者には入園説明会や参観日に必要な情報を提供している。	
改善できる点／改善方法：	
Ⅳ－３－（２）健康診断・歯科健診の結果を保育に反映している。	(a)・b・c
良い点／工夫されている点： 　健康診断の結果については、保護者に伝え、必要に応じて保健師にも連絡している。年2回の歯科検診の他、週1回のフッ化物洗口や歯磨き指導を行っている。年長児には尿検査を実施する他、保護者に実際に減塩食を試食してもらう等して、塩分摂取についての指導を行っている。	
改善できる点／改善方法：	
Ⅳ－３－（３）　アレルギー疾患、慢性疾患等のある子どもについて、医師からの指示を受け適切な対応を行っている。	(a)・b・c
良い点／工夫されている点： 　様々なアレルギー対応が必要な子どもについて、給食やおやつの除去食、代替食を提供している。他児と食器の色を変える等して間違いの防止に努めている。服薬に関しては、医師の指示書を基に園長と主任が対応している。	
改善できる点／改善方法：	

Ⅳ－４　食事

	第三者評価結果
Ⅳ－４－（１）食事を楽しむことができるよう工夫をしている。	a・(b)・c
良い点／工夫されている点： 　給食の食材に年長児が育てた野菜を使ったメニューを加えたり、手作りおやつをも多く作る等豊かな食事のメニューが取り入れられている。人気のカレー、から揚げ、焼きそばの他、様々な食材を使って食べられるものが少しでも多くなるよう工夫している。また、毎月給食だよりを配布しており、食育等に関する事項を掲載している。保護者対象の給食試食会も行っている。	
改善できる点／改善方法： 　幼児組に移行する2歳児は3月に入ったら、4,5歳の部屋で食事を経験し、交流することも2歳児にとって成長する期待が膨らむのではないかと思われる。また、気候の良い時期にはテラスで食事やおやつを食べるのも食事を楽しむものにする案の一つと考える。	
Ⅳ－４－（２）子どもがおいしく安心して食べることのできる食事を提供している。	(a)・b・c
良い点／工夫されている点： 　園長、栄養士、調理員等による毎月の給食会議では、食材は地産地消を心がけ、地元の食材を多く使った献立等を検討し、次月の献立に反映させている。職員会には栄養士や調理員も出席する等、他の職員と連携を図っている。また、給食日記はクラスの担任が子どもの食べ具合や味付け等を記載する等して、美味しく、安心して食べられるよう工夫している。	
改善できる点／改善方法：	

評価対象Ｖ　子育て支援

Ｖ－１　家庭との緊密な連携

	第三者評価結果

Ｖ－１－（１）子どもの生活を充実させるために、家庭との連携を行っている。	ⓐ・b・c
良い点／工夫されている点： 日々の送迎時のおしゃべりや連絡帳等で情報交換ができている。また、個別懇談や参観日等を通して、話す機会が設けている。情報については児童記録票に記載することにしている。	
改善できる点／改善方法：	

Ｖ－２　保護者等の支援

	第三者評価結果
Ｖ－２－（１）保護者が安心して子育てができるよう支援を行っている。	ⓐ・b・c
良い点／工夫されている点： 送迎時での声かけ等、日常的に機会を捉えて、コミュニケーションに心がけることにより、保護者との信頼関係作りに努めている。保護者からの相談に対しては相談室で対応している。内容によっては、児童福祉課や子ども相談センター、保健師と相談する等連携した体制ができている。	
改善できる点／改善方法：	
Ｖ－２－（２）家庭での虐待等権利侵害の疑いのある子どもの早期発見・早期対応及び虐待の予防に努めている。	ⓐ・b・c
良い点／工夫されている点： 虐待防止マニュアルが整備されており、職員は早期発見、早期発見に努めている。職員の多くが地元在住であり、様々な情報が得やすい状況にある。虐待が発見された場合には、緊急ケース会議を開くこととしている。	
改善できる点／改善方法：	

評価対象Ⅵ　保育の質の向上

Ⅵ－１　保育実践の振り返り（保育士等の自己評価）

	第三者評価結果
Ⅵ－１－（１）保育士等が主体的に保育実践の振り返り（自己評価）を行い、保育実践の改善や専門性の向上に努めている。	ⓐ・b・c
良い点／工夫されている点： 自己評価を年2回実施して、職員会で改善に向けた話し合いをしている。年度当初に目標設定し、年2回、園長との面談で実践を振り返り、改善が行なわれている。	
改善できる点／改善方法：	

評価対象Ⅶ　個別サービス評価基準（岐阜独自基準）

Ⅶ－１　安全管理面でのサービス

	第三者評価結果
Ⅶ－１－（１）外部からの侵入に対する対応策がとられている。	ⓐ・b・c
良い点／工夫されている点： 日常的に地域の人々とのコミュニケーションを大切にしており、地域や警察、担当課から情報が入りやすい環境にある。また、担当課や近隣施設への通報体制が確立している。	
改善できる点／改善方法：	

Ⅶ－２　保護者とのコミュニケーション

	第三者評価結果
Ⅶ－２－（１）保護者の保育参加を促すような工夫をしている。	ⓐ・b・c
良い点／工夫されている点： 　行事予定を年度当初に知らせ、保護者が参加しやすいように配慮したり、自由参観の機会を持ったりしている。日曜日に親子ふれあい参観日を行い、父親の参加を促している。出席ができない保護者には、園だよりを通じて知らせている。	
改善できる点／改善方法：	
Ⅶ－２－（２）保護者会組織等への活動の援助や意見交換を行っている。	ⓐ・b・c
良い点／工夫されている点： 　保護者会の場所を提供するとともに、園長が参加し、コミュニケーションを図っている。保護者会主催のクリスマス会、運動会、夕涼み会があり、卒園会には保護者会からプレゼントがある。また、園庭や園舎周りの草刈りをする等の活動も積極的に取り組んでもらえる等、協力関係ができている。	
改善できる点／改善方法：	

Ⅶ－３　保育所・幼稚園・小学校との連携

	第三者評価結果
Ⅶ－３－（１）保育所・幼稚園・小学校との連携した取り組みを行っている。	ⓐ・b・c
良い点／工夫されている点： 　小学校との交流は密であり、校長、担任、養護教諭、支援コーディネーター、通級教室の担当等が園を訪れ、意見交換を行っている。地域の人や保護者を含めた「竹原っ子会議」への定期的な参加を通して、情報交換を行う等、連携体制ができている。	
改善できる点／改善方法：	